

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 074	提案機関名 全農神奈川県本部
要望問題名 新たな露地野菜作物の研究について(継続)	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 神奈川県的主要露地作物である大根、キャベツは市場及び消費者から高い評価を得ているものの、価格が低迷し需要が減退している状況である。特に大根に代わる神奈川の気候及び立地にあった推奨露地作物の研究を継続実施していただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター 三浦半島地区事務所	担当部所	研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 作型解析やマーケティング調査に基づく新たな三浦半島特産品の開発・導入		
対応の内容等	ダイコン、キャベツを主とした三浦の特産産地の優位性は高く、今後とも維持していくことが最も重要と認識しています。しかしながら、ご指摘のように、需要減や価格低迷、農業者の高齢化といった問題もあり、三浦の立地条件を活かした新たな作目について研究しておくことも必要と考えております。当所では平成12年度から、新たな特産品の創出を目的に課題化し、冬作ではカリフラワー、ニンニク、葉ニンニク、タマネギ、ザーサイ、児菜(アーサイ)等について試験を実施してきました。また、三浦野菜の作型解析やマーケティング手法も取り入れながら、作目の栽培時期や新作目の検索を検討中です。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			